

事業所名		SMSいちネクスト						支援プログラム			作成日		2024 年		10 月		1 日	
事業所理念		3つの「いち」 ①0からではなく、それぞれのもっているbaseを大切に「1(いち)」からスタートします。 ②ちょっとした技法(technic)を加えると「t+each=teach」となり、個々の能力をそれぞれ伸ばせます。 ③サポートしてくださる他の人たち(other)と共に触れ合い、お互いに(each other)協力し合います。																
支援方針		それぞれの個性を大切に、主体性を活かし、自分らしく成長していく過程を様々な形でサポートします。将来を見据えた多種多様な個別課題学習や、それぞれのニーズに応じた活動を通して社会参加・自立を目指します。 「個を見つめて、自立のための支援を追求する」ことに焦点をあて、将来を見据えた「次に続く」支援をすすめていきます。 個人の「特性に応じた活動」の厳選と、自立に向けた学習・作業・余暇活動などを手順書・チェックシートなどの視覚支援を使用して分かりやすく提供していきます。																
営業時間(1)		平日	9	時	30	分から	18	時	30	分まで	送迎実施の有無		あり	なし	送迎場所により送迎有無については応相談			
営業時間(2)		土・祝 長期休暇	9	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無		あり	なし	送迎場所により送迎有無については応相談			
		支 援 内 容																
本人支援	健康・生活	・手洗い、うがい、検温の実施 ・更衣(制服→体操服、水浴び時の着替え) ・全体(個別)スケジュールなどの視覚支援 ・食育(収穫野菜を使用した調理実習、衛生指導) ・事業所内清掃、ロッカーの整理整頓、除草作業の実施 ・排泄(トイレトレーニング)																
	運動・感覚	・準備体操(ウォーミングアップ) ・聴覚や視覚などの感覚を使ったレク活動(カラオケなど) ・ブロック類やカードゲームを使用した余暇活動 ・散歩 ・サーキットや球技などの中庭運動 ・園芸活動(苗植え、収穫、スケッチ)																
	認知・行動	・オリエンテーリング要素を取り入れた歩行訓練 ・製作や調理実習時の手順書活用(見本) ・事前学習時のルーリングやマナーの共有 ・おやつ金額設定や外出時の外食会計活動 ・タブレットなど使用時の時間設定																
	言語 コミュニケーション	・レクや帰りの会での活動終始の号令、来所持や外出時の挨拶練習 ・帰りの会での発表やイベント後の感想記入の実施 ・緘黙児などに向けた非言語コミュニケーション→クレーンや指差し、手を使った意思表示の促進 ・相手や場所に合わせた言葉遣いの習得																
	人間関係 社会性	・就労施設での就労体験、防災センターや公共施設への外出体験 ・模擬喫茶(接客体験)や会計学習を通じた模倣活動 ・お接待や茶道、初詣などの日本の文化、地域性を知るための交流活動																
家族支援		連絡帳や送迎時の申し送りや支援内容のフィードバック モニタリングや聞き取りなど相談対応や面談の実施 子育てや障がい等に関する情報提供 ペアレントトレーニングやピアサポート、講義案内など保護者様参加の普及 携帯電話やメールでの終日連絡受付体制								移行支援		ライフステージに応じた関係機関との連携や情報共有 就労に向けた交流や体験の実施(グループ内就労b型) 地域とのつながりに向けた取り組み(お接待やこども食堂参加など) 地域社会への参加・インクルージョンの推進(放課後児童クラブや習い事との併行利用や移行に向けた支援)						
地域支援・地域連携		他事業所との交流、情報共有 連携会議の開催 地域連携会議などへの参加								職員の質の向上		月1回の管理者会議 年2回のグループ内全体研修 月数回のグループ内研修報告 職員の各種勉強会や外部研修への参加 他事業所や学校など関係機関の見学と報告会での共有 各委員会の開催と周知 児発管など資格取得の機会						
主な行事等		季節の行事(お花見、お祭り、水浴び、ハロウィン、クリスマスなど) 外出(図書館や公園などの公共施設、就労施設、買い物、レストランなどでの外食、防災施設、消防署や警察署など) 食育(おやつ作り、知育菓子、昼食作り、模擬喫茶体験、野菜や果物の栽培～収穫) レクリエーション(室内外運動、テーブルゲーム、身辺自立や挨拶練習) 製作(折り紙、ちぎり絵など端材を使用した物、イベント製作)																